

2025年度 とうきょうすくわくプログラム
練馬区 みらいく平和台園 5歳児

【活動スケジュール】

11月：《テーマ》砂に触れる。様々な砂や土の種類があることを知る。また、種類によって音が違うことを発見する。

《活動内容》

- ①採取した砂や土を顕微鏡で見て、違いを発見する。
- ②公園に行って砂の採取。公園マップの作成をする。
- ③ボトルやトレーに入れて、音の違いを発見する。
- ④川づくり→公園で行う。どのくらい水があれば川になるか、どうやって作ったらいいかなど。

12月：《テーマ》砂を使って実験遊びをする。

《活動内容》

- ①砂鉄採取。顕微鏡で見る。(どの公園で採取できるか実験する。)
- ②ボトルに砂と水を入れて、沈殿・浮遊するか見る。(砂や土をそのまま入れたり、すり潰したりしてみる。)

1月：《テーマ》砂を使って実験遊びをする。

《活動内容》

- ①粘土作成。(いろんな砂や土で実験。)
- ②砂の泡作り。

2月：《テーマ》砂でいろんな物を作ってみよう。

《活動内容》

- ①砂アート、砂時計づくり。(砂に色を付けられるか実験も込みで行う。)
- ②光に当てた時の光の透け方の違いを発見する。

3月：《テーマ》砂でいろんな物を作ってみよう。

《活動内容》

泥団子づくり。

(いろんな種類の砂や土を使って、どれが上手くできるかを実験。それぞれの砂の用途も知る。どのくらい水を使うか。また、ストッキング、布、などどれが一番ピカピカになるか試しながら行う。)

11月～身近な自然に触れて遊ぼう～

11月7日 こどもの森～どろんこに触れながら、川づくり・ごっこ遊び～

どろんこに触れにこどもの森へ行っていました。さっそくスコップで掘り返し、どろんこに触れようとしていた子どもたち。水分がなく「硬いね～」「掘れないね」と話し合っていました。「どうやったら泥んこになるかな?」と問いかけると「お水を入れる」という発想がありました。

大きなバケツと台車を見つけてすぐに取り掛かりました。水を運ぶチーム、掘るチームに分担をしていた子どもたち。どろんこ水が溜まっていくことが楽しいようで、「お水が溜まってきたよ」「川ができてきたね」と子どもたち同士で会話をしながら行っていました。また、どろんこが出てくると、すぐに触れる子や恐る恐る触れる子がいましたが、慣れてくるとみんな手がどろんこに。ままごとセットを使って、混ぜたり潰したり、チョークで色を付けたり、丸めたりしながら遊んでいました。

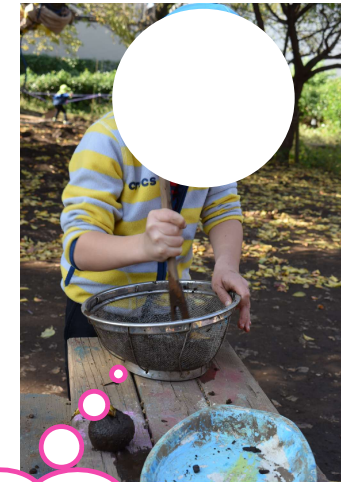
☆保育士の気づき・振り返り☆

最初は泥に触れることに抵抗があった子が多かったが、友だちが触れているところを見ると、触れることに挑戦していた。慣れてくると保育士が声掛けをしなくても子どもたちがアイデアを膨らませて遊びを発展させていく姿に驚いた。子どもたちの身近な自然で遊ぶことの楽しさを感じていたので、遊びの発展をさせたり、探究心を育んだりできるような関わりをしていく。

お水をいっぱい
持っていこう



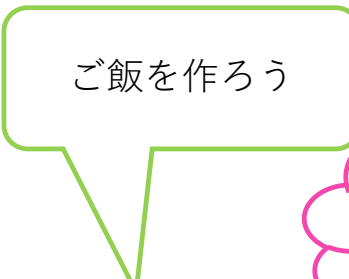
川ができてきたよ



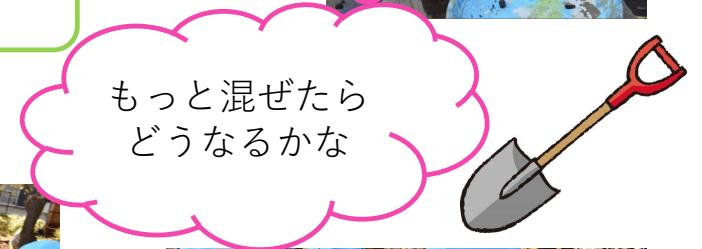
まだまだお水
が必要だね



ご飯を作ろう



もっと混ぜたら
どうなるかな



こんなにどろだらけに
なったよ



11月・12月～みんなが遊んでいる公園の砂について調べてみよう～

公園の砂の採取をして、違いを発見する

どろんこ遊びをして更に砂場遊びが好きになった子どもたち。砂場の砂と地面にある砂の違いに気がつき、「こっちは粒が大きいよ」「こっちの方が茶色いね」「こっちのほうふわふわしている気がする」と様々な発見をしていました。ここで、普段から遊んでいる公園の砂はどんな違いがあるのかを調べることに。砂場や滑り台の下、地面など様々な所から採取をしました。園持ち帰り、顕微鏡で見てみることに。改めて粒の大きさ、色の違いに驚いていました。また、粒が大きい砂はもっと小さくなるのかな？と疑問が生まれ、みんなで擦って実験をしました。

☆保育士の気づき・振り返り☆

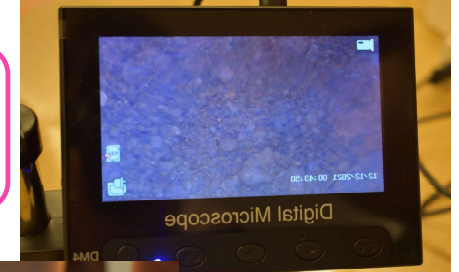
どのようにして粒の大きさを調べるかを問いかけたところ、子どもたちから顕微鏡のアイデアを出していた。顕微鏡の用途を知っている子がほとんどで、驚きを感じた。様々な砂があることを知る機会になったので、砂の種類にも着目できるようにしていきたい。



仲町西児童遊園の砂

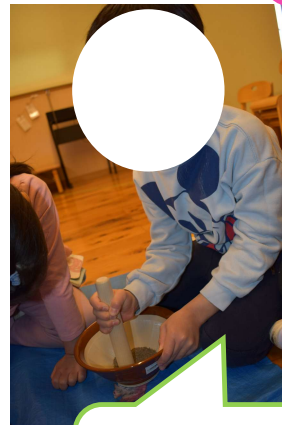


粒の大きさが違う！

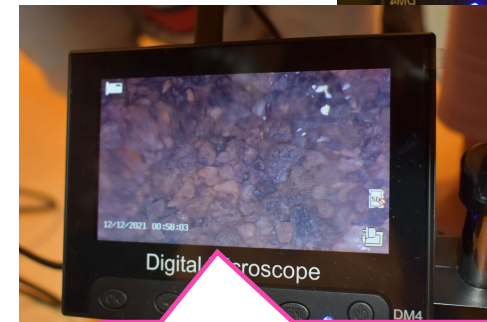


掘ったら違う色が出てきたよ
もっと掘ったらどんな砂が出てくるかな

小さくなってきたかな？



もっと小さくしてみよう



少しだけ小さくなって砂が増えた！



1月～砂の実験遊びをしよう～

- ・砂鉄に触れる。砂の違いを発見した子どもたち。砂の種類には、磁石にくっつく《砂鉄》があることを伝えると、「公園の砂にも砂鉄あるかな？」と興味を持っていました。「どうやって探す？」と問いかけると、「磁石があれば探せると思う」と提案をしていました。早速磁石で砂鉄探しを行いました。
- ・音の違いを知る。粒の大きさの違いを発見し、「他にはどんな違いがあるかな？」と問いかけると、「匂い」「音」などたくさん意見があがりました。「どのようにしたら音の違いが発見できるかな？」と問いかけると、「マラカスみたいに振ったら分かるかもしれない」と意見があがり、さっそくペットボトルに入れて実験！4種類の砂を聞き分け、様々な聞こえ方があることを発見しました。「粒の大きさが違うと音が違うね」と発見した喜びを共有しながら行っていました。

☆保育士の気づき・振り返り☆

保育士が感じた音よりも、子どもたちは様々な音に聞こえていることを学んだ。改めて子どもたちが感じていること、考えていることの面白さを感じることができた。砂の種類や、砂によって音が異なることを知ることができた。子どもたちから玩具に見立てる姿が見られたので、実際に作れる機会を設けていく。

砂鉄の採取



こっちの砂には砂鉄はなさそう



微量ですが砂鉄を発見！本当に磁石にくっついてる！と笑顔になっていました。

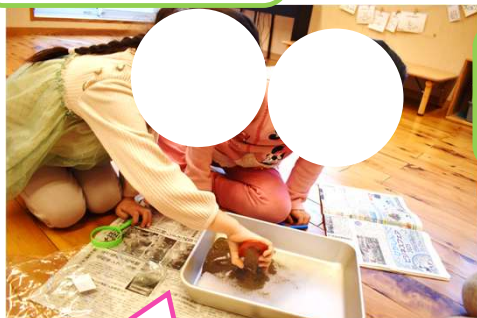


こっちの砂はカラカラするね

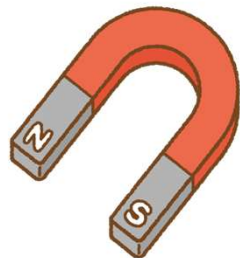
こっちはシャカシャカ！



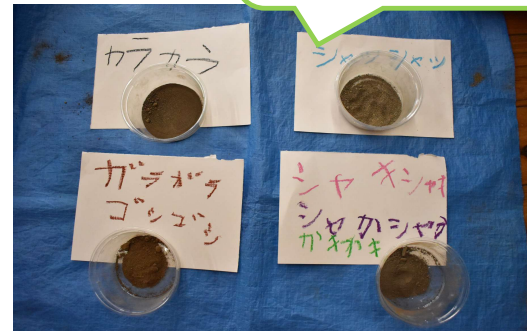
4種の砂の聞こえ方をまとめました



磁石にくっついてる！



こっちはあるかな？



音の実験

2月～砂の実験遊びをしよう～

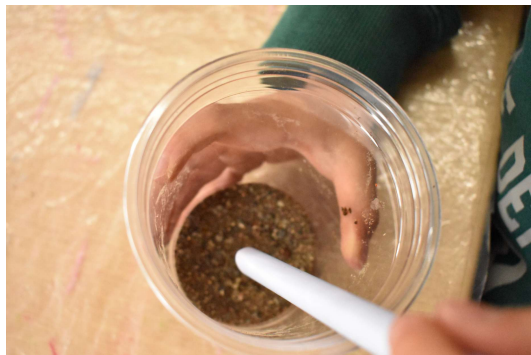
・砂に色は付くのかな？先月は音の違いを発見しました。「マラカスみたいだね」という話から、「砂で玩具を作れないかな？」と子どもたち同士で話し合っていました。ペットボトルの蓋同士を合わせると、「砂時計に見えない？」と発見していました。そこから砂時計作りに挑戦をしてみることにしました。「砂時計の砂は色がついているけど、砂に色は付けられるのかな？」と疑問が生まれていました。それぞれ意見を出し合い、3：3で色がつく、色がつかないで意見が割れていました。絵の具やマーカーなど意見が出ましたが、今回は食紅で色付けを行いました。色がつきやすい砂とつきにくい砂があることを発見。「サラサラの方がつきやすいと思う」と意見が出ていました。

☆保育士の気づき・振り返り☆

色が付きにくい砂の違いのところに発見をしていて驚きを感じた。粒の大きさや感触など様々な子ども目線の視点があり、子どもたちの発想の幅の広さを感じることができた。砂で物を作る楽しさを感じることができた。色の付きにくさを感じ、その物に適した砂があることを知るきっかけとなった。どろだんごを作りたいと声があがっているので、適した砂や土があることを一緒に調べていきたい。



色付くと思う



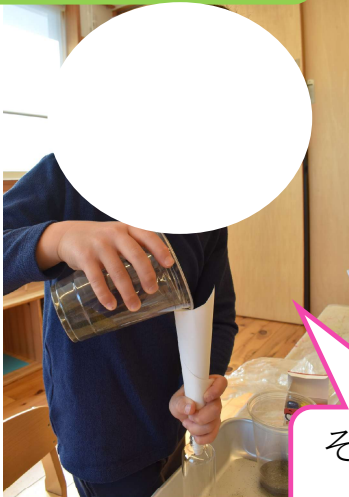
砂時計に見える！

ぼくは色がつかないと思う

だんだん色がついてきたよ



色が付きやすい砂と付きにくい砂があることを発見！



そーっと砂を入れてみよう

砂時計の完成！

3月～どろだんご作りをしよう～

・どろだんごづくりに挑戦しよう！先月は砂時計作りを行い、「他に砂で何が作れるかな？」とみんなで話し合いをしました。「どろだんごを作ろうよ」と声上がり挑戦することに。色が付きやすい・付きにくい砂があったように、どろだんごを作るのに適した砂があるのか調べながら行いました。まずは砂場の砂で挑戦。「固まるけどすぐに崩れちゃう」「水を入れてみよう」等工夫をしていました。その後“荒木田土”がどろだんご作りに適していることを調べました。水を入れないと固まりにくく・・・「水を入れてみよう」と意見が上がり、入れて挑戦。「砂場の砂よりも固まりやすい！」と感触の違いを発見していました。

☆保育士の気づき・振り返り☆

砂について学びを深めたり、遊びの発展をさせたりすることで、どろんこの感触が苦手だった子も積極的に触れる姿が見られた。また、今回の活動を通して、子どもたち探究心を育むことができ、自分たちの考えや疑問の声をたくさん上げる姿が見られた。



どうやって
上手につくれるかな？



水を入れてみよう

荒木田土



砂場の砂よりも作り
やすい



雨上がりの砂でし
たが、なかなか固
まらず、、水を含
ませて作ってみる
ことにしました。



完成！
上手に固まった！

完成！
少し崩れやすいかな？



砂場の砂